

11月麻績村教育委員会定例会議 会議録

令和5年11月1日(水)

午前9時30分～

地域交流センター第3・4研修室

出席委員 職務代理 小山正文 委員 高野羊子
委員 宮下温子 委員 小松小百合
出席職員 麻績保育園長 塚原京子 麻績小学校長 伊藤尊夫
筑北中学校長 臼井伸明 教育長 加瀬浩明
次長 臼井太津男 主任 高野智弘

一 開会(臼井教育次長)

令和5年11月の麻績村教育委員会定例会を始めます。よろしくお願いたします。

二 教育長挨拶(加瀬教育長)

教育長: 先週の市町村教委連絡協議会ありがとうございました。行事が次々に行われお忙しい中ではありますが、本日の定例教育委員会よろしくお願いたします。以上でございます。

三 報告

1) 教育長報告

臼井次長: 報告事項に移ります。教育長報告をお願いします。

教育長: 10月は様々な行事があつて非常に忙しい月でした。本当にいろいろご協力ありがとうございました。それぞれの行事が充実して大変よかつたと感じているところであります。そういった意味で保小中の一貫教育を打ち出している中で、具体的な状況が形として見えたかと思ひます。

やはり一貫教育と言ひながら、具体的にどういう形でということがよく言われるわけではありますが、今回の行事においては先生方が協力して準備をし、一つの良い形が見えました。本当にそういう面では良かつたと思ひます。ただ一貫教育自体は、行事のためだけというわけではなくて、日常的な活動がいかに保育園から小学校そして、中学校へと繋がっていくかということだと思ひております。そう考えると、いよいよ一貫教育の具体的な取り組みをどんどん打ち出していく必要があるかと思ひております。

校長先生には非常に申し訳ないと思ひますが、一貫教育の取り組み

として今後考えていることは、まず校長講話を小中入れ替えてやっていただけないかと思います。いつまでということではありませんので校長先生の方で予定をつけていただいて、小学校の校長先生が中学で校長講話をしていただき、中学校の校長先生が小学校で校長講話をしていただく。それぞれの繋がりであったり、現状の姿を見ていただいたりそのようなことも含めて、ぜひ計画をしたいと考えています。校長先生の方でお考えをいただいて、それぞれ異校種のところでやっていただけるとありがたいと考えております。よろしくお願いいたします。

それからもう一点は、市町村教委の研修総会で講演も聞いて参りました。木村泰子先生は、大阪市立の大空小学校の初代校長先生になります。いろいろ改革的な取り組みをされた校長先生であります。そのお話を聞いてきて先生がやられてきたことは、いたってシンプルで特別なことをやったわけではないということでした。やるべきことを一つ一つ丁寧にやっていったそうです。しかも学校の職員だけじゃなくて、当然子供もそうですし、保護者もそうですし、地域の人たちもどんどん学校の中に入れて学校をオープンにしたことが結果に繋がったのだと思います。不登校がゼロというような状況で、都会の学校にしてはすごい取り組みだなと思いました。ただ一つだけルールを決めたそうです。それは、「自分がされて嫌なことは人にはしない。」これを子供たちに言い続けてきたそうです。それが唯一のルールだということを教えていただきました。やはり、日常のやるべきことを一つ一つ丁寧に確実にやっていくことが、成果に繋がっていくのだなと思いました。

我々も一貫教育というような形をとっているわけでありますので、0歳から18歳の成人するまでいろんな形でサポートをしながら教育委員会としても見ていきたいと考えているわけであります。今後いろいろなお知恵を出していただいて具体的に進めていかれるといいなと思ったところがあります。

先日、副村長と保育園の給食をいただきに行ってまいりました。もっとワイワイして飛び回っていて、給食と言ってもなかなか難しいのかと思いましたが、そうではありませんでした。本当に先生方が、一人ひとり丁寧に、ものすごく時間をかけてやっている姿を見られてよかったと感じました。

最後になりますけれども11月4日をもちまして宮下温子委員が、4年間の任期満了となります。子供たちの保護者の立場でということで携わっていただきました。いろいろなご意見をいただき、様々な活動をしていただきました。本当に感謝を申し上げます。これからは保護者の立場でもあり、それから図書館職員でございますので、図書館の立場からまたいろいろなご意見そしてご協力をいただけるとありがたいなと思っているところであ

ります。これまで本当にありがとうございました。

11月の行事に関して載せてあります。いろいろなことがございますけれども、ぜひまたご協力をお願いしたいと思います。私からは以上でございます。

白井次長: ただいまの教育長報告についてご質問等ありますか。

2) 子育て支援コーディネーター・保育園長・学校長報告

白井次長: 続いて子育て支援コーディネーター報告に移ります。

高野CO: (以下、資料に沿って説明)。

白井次長: 只今の子育て支援コーディネーター報告についてご意見等ございましたらお願いします。よろしいでしょうか。

白井次長: それでは続いて保育園長報告に移ります。

塚原園長: (以下、資料に沿って説明)。

白井次長: 只今の保育園長報告についてご意見等ございましたらお願いします。よろしいでしょうか。

白井次長: それでは続いて小学校長報告に移ります。

伊藤校長: (以下、資料に沿って説明)。

教育長: 空き教室になったときにストーブは消した方が良いのですか。温度が下がって設定温度まで暖めるまでに余計に燃料がかかってしまわないか。実際試して検証してみてください。

伊藤校長: 10月の水道料金が大きいという話があります。

白井次長: 水道へも話は伝わっています。今後も継続するようなら漏水の可能性もあります。今後状況を見ていきます。

教育長: おみっこミュージックフェスティバルについてですが、反省事項等検討しているかと思えます。実施方法等も検証しながら次年度に生かしてもらえればと思います。全部でやるのが良いのか、それぞれでやるのが良いのか、根本的にあるかもしれません。ただ1年だけで終わりにしてしまうこともできないので、改善すべきところを改善してもらいたいと思います。

白井次長: よろしいでしょうか。それでは中学校報告に移ります。

白井校長: (以下、資料に沿って説明)。

白井次長: 只今の中学校長報告についてご意見等ございましたらお願いします。

小松委員: おみっこミュージックフェスティバルですが、小学校に場所を変えて行うとしたら小学校としてはいかがでしょうか。

伊藤校長: 小学校でも1回実施してみたいとは思っています。一方で会場の大きさの間

題はあります。入れ替え制にすると対応は必要になってきます。

教育長: 今回初めての試みだったので、いろいろなところから意見を出していただいて次年度に繋がればと思います。よろしくお願いします。

おみっこミュージックフェスティバルを行うために、音楽の授業を超えて練習することはありませんでしたか。通常の授業時間の範囲でやることが基本です。

白井校長: 高山先生が毎月のように来ていただいて、ご指導いただきました。但し音楽会を目指してやっているわけではありません。良い発表はしたいと思っているので自ずと気合いが入るとは思います。しかし、あまり見栄えばかり気にして始めるとストレスになってしまうかとは思っています。

高野委員: 普段の学習の成果を発表する場であって、過度な練習をすることではないと思います。村民としてはとても良い会だったなと思って聴かせていただきました。会に参加した園児はきっと何かを感じ取っていたし、小中学生は自分たちの姿を見せられ、そんな関係性を持てたことは素晴らしいことだと思いました。

白井校長: ミュージックフェスティバルではありますが、一生の中で麻績の子供たちが一つの場所に集まる機会がどれくらいあるかなと考えたときに、多分ないままに卒業してしまうのだらうなと思います。保小中の子供たちが2時間一緒にいることは意味があるのだらうなと思います。繋がりという部分については良かったのではないかと思います。

白井次長: 以上で報告を終わりにします。協議事項に移ります。

四 協議事項

1) 今後の保小中一貫事業について

- ・今年度事業について
- ・今後の方向性について

教育長: 校長講話をやっていただきたいことを具体的に出しましたけれども、その他一貫事業としてそれぞれお出しただけであればありがたいのですが。

宮下委員: 村民運動会はまだ残っているので、そんな機会に皆が集まると良いなと思います。

白井校長: 筑北祭での運動会が楽しかったとの感想を聞きました。音楽会にもつながるのですが、何かを楽しむということではなくて、見栄えや形に重きを置くと楽しめなくなってしまうのかなと思います。筑北祭に5~6年生が来年度は来て、中学生と一緒に交流出来れば良いのかなと思います。体験入学も5~6年生で来てもらって、5年生には給食を一回くらい一緒に食べてもらい、そこで校長講話をすればと考えます。年長さんと低学年また高学

年と中学生の重なる部分での交流ができれば良いかと思います。

教育長: それぞれ登校日数は何日ですか。

白井校長: 202日です。

伊藤校長: 204日です。

教育長: このところ登校日数を都会並にしましよという方向であります。長野県はとにかく行事が多いので、どんどん行事を削っていく方向にシフトしています。練習時間も限られ、苦しい状況の中で大変良くやっていただいています。運営に関しては校長の裁量によりますので、しっかり見直ししていただくとともに、要望等あれば出していただいて、子供たちにとってより良い影響のある行事にしてもらえればと思います。

話は飛びますが、同じように小中一貫でやっている学校も県内でもいくつかあります。うちと同じような状況のところは八坂中学校と八坂小学校があります。校舎分離型でやっています。美麻小中は一つの校舎で一体型です。ぜひ八坂とか美麻に視察に行きたいと考えております。どういう小中一貫教育をやっているのか見ておく必要があると思います。

白井校長: 私がいた茅野市は分離型の小中一貫をやっています。一緒にやっていた先生が変わることで、考え方が変わってきたりするので、職員の調整をすることが難しかったかなと感じています。合同職員会をやったりコミュニケーションをはかりながら繋がったりしてはいましたけれど、その学校にいる職員がどういうふうに繋がっていけるかが重要です。小学校と中学校が20メートルぐらいしか距離がないところでしたが、1年目は良かったのですが、だんだんと行きづらくなってきて、時間が経つにつれて小学校は小学校で、中学校は中学校でという流れになる傾向にありました。

やはり地域の人々が沢山入って行って、校長へ要望してもらえれば校長達はやってくれると思います。なので、地域の人たちの意識が、小中は一緒であり、保育園も含めてという思いは変わらないと思うので、そういった考え方が大事かなと思います。

伊藤校長: 私は分離型の一貫校の経験があります。両小野小中が一貫校でやっていますが距離が離れていて大変でした。それから野沢温泉も一貫校をやっています。野沢温泉学園という名前で保小中連携してやっています。どちらも共通していることは、コミュニティースクールがしっかりしていることです。

教育長: ありがとうございます。いずれにしても他を見ることは大事だと思いますので、計画させていただきます。他一貫教育について何かございますか。

白井校長: 職員が授業を見に来るとか、そんなことができればいいと思います。

教育長: 今後小中一貫で授業ができる先生が必要です。中学としてはなるべく小学校免許を持っている先生を優先的に回してもらいたいような形をお願いします。

してもらえれば、いろいろな繋がりができると思います。これに関しては常に考えながらいろいろなアイデアを出しながら進めたいと思います。今度八坂を見ていきたいと思いますので、そんなところを見てからまた方向性をみんなで考えて行きたいと思います。よろしくお願いします。はい、ありがとうございました。

五 その他

1) 各委員から

教育長: 各委員さんからございますか。

小松委員: 先週の土曜日と日曜日に、わくわく元気村の聖山登山とキャンプをしました。大盛況でした。様々な年代が集まる意味を改めて感じさせられ、今後は様々な場面で広がってくることを願います。わくわく元気村だけでなく、おみっこもこれからいろいろな活動を盛んに行っていただきたいと思っています。

高野委員: おみっこミュージックフェスティバルでは子供たちがこれだけ盛大に集まったことに、かなり意味があるのではないかと実感しました。高齢者の方にも ZOOM 配信で見ることができたので良かったです。よその子なのに姿を見るだけでとても喜んでいました。

小山職務代理: 先日教育委員の研修会で講演の中で印象に残った言葉が「人の力を活用する力」それから「弱みを吐き出せる職員室」っていう言葉です。自分のキャパシティーも限られていますので、様々な人の力を活用しながら、教育だけじゃなくて他の一般の生活においても当てはまることなので印象を受けました。それから「弱みを吐き出せる職員室」は、先生方は教室に入れば 1 人でやるしかありません。授業が終わって職員室へ戻ったら、子供たちの様子を話したり弱みを吐き出したりして、それを受け止める雰囲気づくりが重要かなと思いました。心を病む先生方が多いと聞きますので、悩みごとの小さなうちに解決ができるようにしていただければありがたいです。

先ほど保育園の避難訓練の話がありました。不審者対応とのことでしたが、よく言われているのが「良い人っぽい人に気を付けて」とのことですのでお互いに気を付けていきましょう。以上です。

宮下委員: 小学校施設のことについてお願いします。昇降口付近に車が入ってきて大変危険です。低学年の下校時刻に、児童クラブへ行く途中などに車が入ってきて危ない思いをしました。役場側には車止めがあって入ってきませんが、体育館側は空いているので入ってきてしまいます。何か起こる前に対応するといいと思いました。配送業者の車などが下校時刻にかち合ったりしています。何か表示するとか、木を剪定するというのも一つあると

と思いますが、気にしているところです。一番は車を入れないことだと思います。

4年間ありがとうございました。私自身たくさん勉強させていただきました。未熟な点や至らない点とか多々あり、ご迷惑をおかけしてしまったこともあったかと思います。ありがとうございました。保護者ということで、自分自身も子供に改めて向き合うことができた4年間だったと思います。今後も何かの場面で少しでもご協力できればと思います。お世話になりました。

教育長: ありがとうございます。宮下委員の後任でありますけれども坂口曜子さんが就任されます。2日に任命式となります。11月5日からとなりますけれども、皆さんへの紹介は次回の定例で行いたいと思いますので、よろしくをお願いします。

2) 事務局から

・松本山雅ホームタウン事業

- ① 村民運動会への協力（片山氏→実況 MC・ガンズくん参加）
- ② 秋の読書週間 10/27～11/9 おみ図書館利用者に選手しおり配布
- ③ 児童生徒試合観戦事業（第2回）11月5日 30名参加予定
- ④ ガンズくん交通安全かるた事業→小学校へ配布

白井校長: 山雅ホームタウン事業についてです。10月15日は麻績村ホームタウンデーということで、小学校3年生が作ったパンフレットを子供たちの手からサポーターに渡していただきました。

それから村民運動会の協力ということで、片山さんとガンズくんに参加していただきました。非常に盛り上がりました。

秋の読書週間ということで17日から行われており、山雅選手のしおりが来ています。本を借りていただいた方にしおり1枚を進呈するというような事業が行われております。

それから今週の日曜日ですが、第2回目の児童生徒の試合観戦事業があります。現在30名参加する予定になっております。中学生の参加がないので、どういうふうに山雅との繋がりを考えていったらいいのかなというところもあります。今回高森町のホームタウンデーですが、山雅のホームページを見ましたら、高森町の中学校では、総合の授業で山雅のホームタウンの部分絡ませながら町のPRをどうしたらいいかということを考えてそうです。キーホルダーを作って販売する事が書いてあったので、そんな形からも山雅と中学生との関わりを持っていただけらなということで、また学校の方でも進めていければと思っております。

それからガンズくんの交通安全かるた事業になります。これは山雅の事

業ですが、小学校にガンズ君の交通安全かるたが進呈されます。できれば何かイベント的なものをしていただけたらありがたいということで、教頭先生にお願いしているところでもあります。このような形で地道に進めていければと考えております。

・東筑摩郡町村教育委員会研修会の開催について

11月22日(水)10時開会 筑北村:本城公民館

白井次長: 東筑摩郡町村教育委員会の研修会開催について、11月22日水曜日10時開会ということで、場所は本城公民館です。9時30分に出発予定です。交流センター前に集合願います。研修会終了後昼食懇談会が予定されています。研修会の内容ですがGIGAスクールについて講演があった後、聖南中学校での端末の活用状況も報告されるということでもあります。

・文化祭の実施について → 11/3~4開催 *11/4 9時芸能発表会

白井次長: 文化祭が11月3、4日開催されます。11月4日には商工祭もあります。芸能発表会も久々に対面で行われますので、ぜひともご覧いただければと思います。また校長先生等にはオープニングセレモニーにもご参加いただきますのでよろしく願いいたします。

・学社連携・協働フォーラム開催について

白井次長: 学社連携の協働フォーラムの開催要項になります。学校教育、社会教育が連携した中でのフォーラムということになります。ご希望がありましたら、取りまとめが公民館になっておりますのでお願いします。

3) 次回予定

次回の定例教育委員会の日程 12月4日(月) 午前9:30~

六 閉会

教育長: 以上をもちまして11月の定例教育委員会を閉じます。